

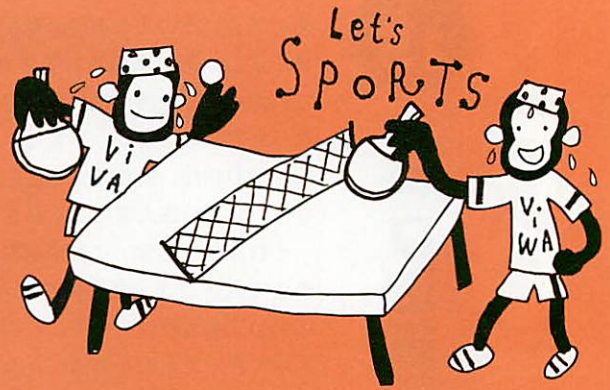
Ohmi Net

No. 37
9・10月号

おひみネット



BIWA CHAN



Q1.もし、あなたが知事なら、高齢者がいきいきするために何が重要だと思いますか？どんな政策を打ち出しますか？

県民166人巻頭アンケート結果

- 上手にお金を使える老人用スポーツクラブを作る。
- 毎日笑顔で健康で暮らせるように、スポーツができる環境を作る。
- 高齢者の家を定期的にまわる人を採用して2人で話ができるようにする。
- 社会参画システムの充実。そのためのフォロー（パソコンを使いこなす、など）。
- 高齢者の知恵やキャリアを社会に還元させる仕組みをつくる。
- 高齢者自身が活躍できるようにキャリア・介護・家事・環境・生涯学習・農業・伝統など学校や図書館・福祉施設・高齢者宅などに人材派遣するしくみを充実。
- 高齢者には自立してもらわないと困る。組織をつくり、仕事をしてもらう。
- 県独自の年金補助。公共施設使用料金無料。ゴルフ場等の娯楽施設割引。医療費の補助。公共の老人ホーム等の増設。高齢者に優しい街づくり。
- 孫ぐらいの世代の子供たちと接する機会を増やす！
- 介護の狭間にいる人たちのための施設の充実。例えば保険外でも安価に利用出来るデイサービス施設の開設など。
- 年金制度自体を一旦廃止し、今までの掛け金を個人に全額返却し、個人のリスクで積立するようにする。
- 高齢者、障害者に芸術、映画館など無料にする。
- 高齢者が参加できそうな町や村、地区の行事を積極的に開催する。
- 電車代やバス代を半額にする。
- 高齢者の外出の支援をする。
- 近所同志の助け合いを復活させる
- 人間同士（年齢差など）のバリアをなくすふれあいの場をもっと作る。
- 幼稚園や、託児所などと同じ敷地に、老人ホームや、老人のコミュニティ広場を併設し、元気な子供達と元気をもらう高齢者達の共存を推進する。
- 地域密着型の交通機関の充実。同時に地域レクリエーションを行い老後の生きがいを自発に生み出せる環境整備が必要だと思います。
- 趣味等で、共通の話題のある人たちが、ふれあえる場所を提供する。生きる喜びを、与えるため、趣味の教室を、無料または低額にて開催する。その際地域に密着した場所（公民館や集会所）で開催する。
- 高齢者を対象とした食事会をひらく。
- ゲートボール場と銭湯がセットになった施設を作る。
- 定年年齢を労働者の選択でのばせるようにする。
- ノーマライゼーションのための意識改革。
- 全交通機関のバリアフリー化を徹底をします。それで障害や福祉に理解啓蒙促進交流が深まり経済的効果も期待できます。

高齢者がいきいきするためにには何が重要？

県民

166人

巻頭アンケートVOL3



◀◀◀ 中面につづく

淡海ネットワークセンター

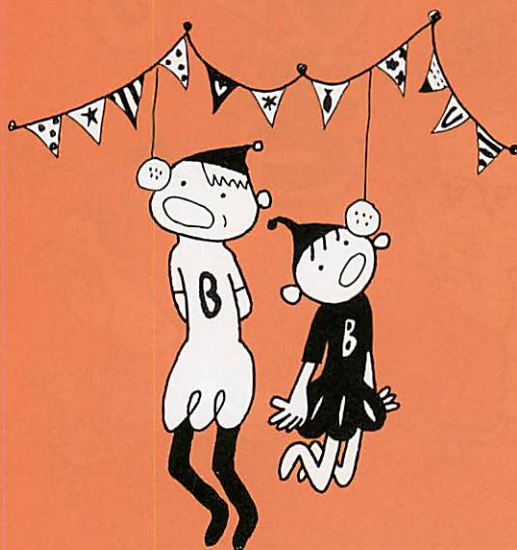
淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

特定非営利活動促進法（いわゆるNPO法）が施行され、この12月で丸5年になる。議員立法、シーズをはじめとするいろいろな市民活動団体のサポートなど、これまでにない形で進められてきたこの法律の制定過程は、これからの国や自治体の政策形成に一石を投じるものとなったのではないかと思える。その後も、認定NPO法人制度の創設、公益法人制度の見直し、NPO法の改正など、NPO法人をめぐる動きも活発である。

それはさておき、7月末現在、全国で12,000以上のNPO法人ができ、滋賀県でもその数は110を超えるほどの勢いで増え続けている。このような数多くのNPO法人ができてきたのを素直に見ると、地域課題を自らが解決しようとする市民の力（＝市民力）が高まってきたということも言えるかもしれない。地域課題を行政まかせではなく自らの手でということ、とりわけ住民の関心が高いのが、福祉の問題と言えるだろう。全国的にもNPO法人の活動分野としては圧倒的に福祉・保健・医療の分野が多いし、滋賀でも地域で宅老・グループホームをNPO法人として立ち上げるケースも増えているのは事実である。

一方、NPO法人全般を見ていると、その成立過程も様々であることが分かる。これまで任意団体として活動してきた団体がステップアップのために法人化するケース、地域課題に気付いた人が仲間を募って法人を立ち上げるケースなどなどである。いずれにしても、法人化するにはそれなりのエネルギーも要する。そうしたときに役立つのが、淡海ネットワークセンターのような中間支援組織である。しかし実際に中間支援組織に相談して法人化するケースはそれほど多くない。

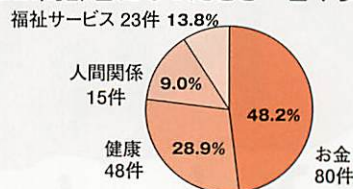
NPOが自立し、社会を変革していくだけの力量を持つていくためには、スキルを高めるための研修、NPO・行政などの多方面の情報収集、同種あるいは異業種のネットワーク形成など、中間支援組織に求める役割は大きいはずだ。そこへNPO法人がアクセスしないというのはどういうことか。実際、中間支援組織や他のNPOと交流を持っていないNPO法人の実態は分からない。そういうNPO法人が何をしているのか知りたいものだ。



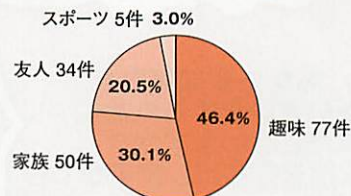
高齢者がいきいきするためには何が必要？ 県民166人巻頭アンケート結果

▶▶▶ 表紙よりつづき

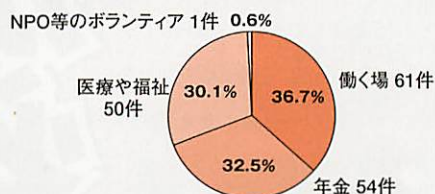
Q2.高齢者になったとき一番不安なことは？



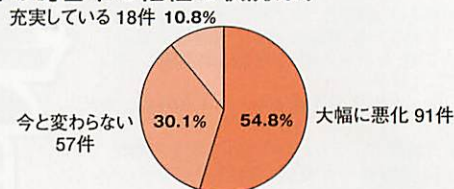
Q3.高齢者にとって一番の生きがいは？



Q4.高齢者がいきいきするために、一番充実すべき条件は？



Q5.2025年に日本は高齢化のピークを迎えます。その時日本の福祉の状況は？



アンケート：携帯情報メール発信会社「2メール」協力
県民：166人（回答人数） 男性：59名 女性：76名 性別不明：38名 10代：5名 20代：47名 30代：43名 40代：15名 50代：7名 不明：49名

〔11月号のアンケート〕
次回11月は教育をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。詳しくは「センターインフォメーション」をご覧ください。

CONTENTS

NPOってナニ？…①

第15回 NPO法施行5年の雑感
阿部圭宏 (NPO市民熱人代表)

特集・Oh!Me!Eyes…②

KIRARI★INTERVIEW…③

私たち「きらり」輝いています！NPO

- ケアリング クラウン トンちゃん一座 (医療)
- 膳所の山辺を愛する会 (環境)
- NPO法人音楽村 (文化)

がんばれ！NPO 応援団…⑤

- 【めとと★コラボ】
- 【マネジメント講座Q&A】
- 【ONLY ONE リレーエッセイ】
- 【スローグッズ探検隊】

行って来て見て情報BOX 9月・10月……………⑨

NPOの役割

女性の社会参画に果たす

「女性の社会への進出」という言葉を耳にしますが、やはり、男性に比べれば、結婚、出産のため、社会から家庭へといったん身を引く女性が多いのが現状です。こうした女性たちが、今、NPOとして社会に参画し、女性にとって住みやすい社会をと、さまざまな形で活動を始めています。今回の特集では、女性たちのNPO活動として、滋賀県でも積極的に活動する「NPO法人びいめぐる企画室」代表理事の小川泰江さんとジェンダー啓発に関する研修や調査研究などの活動をしている「NPO法人SEAN」代表理事の遠矢家永子さんに対談していただき、女性の社会参画にNPOが果たす役割に考えてみます。



●それぞれ活動をはじめられたきっかけをお話し下さい。

遠矢 二十一歳で結婚し専業主婦として家庭に入り、子どもを産んだ当初は、あまり社会を意識せずに暮らしていました。子育ての中で、子どもの未来を考えていくと、添加物のことや戦争のことなど、硬派なことも含めていろいろなことを考え始めました。そんな中で自分と向き合い、「ジェンダー」とも出合い女性グループを立ち上げました。学習会の4年目、子連れの参加者が多くなり、子どもも親も他の参加者も心地よく参加できるしくみを考えたいと、一九九七年に保育サポートグループ「ネットワークステーションとんがらし」を立ち上げました。保育は子どもの命を預かること、また、預ける方・預かる方に力関係を生み

出さないためにも、有償ボランティアによる相互扶助としました。

小川 七年前千葉県から夫の転勤に伴い滋賀県へ引っ越してきて、生活情報がないことに本当に驚きました。それまで情報があるのが当たり前でしたから。いろいろな情報を集める中で、BBB(ベイブリッジベイベーズ)のフォーラムに参加し、そこで滋賀県で活動しているインターネットのママサークル「でじまむ」に出会い活動に参加するようになりました。そのメンバーと「情報がないね」と話をしていた、「ないなら自分たちで情報誌をつくらう」ということではじめました。遠矢さんと少し違うかな、と感じることは、「子どものためというよりは、子どもがいても自分たちがやりたいことをやりたい」で活動をはじめたところ

すね。

●SEANもびいめぐるもNPO法人の認証を受けられましたが、法人格を取得した理由と取得後何か変化がありましたか。

小川 当初法人格を取る必要性を感じていなかったし、NPO法人っていつでも特にメリットもなく魅力的でもなかった。ただ、やはり事業をしていくうえで社会的信頼を得ようとする、任意団体、個人対応では限界が出てきます。法人化を検討する中で有限会社化も含めて議論しましたが、自分たちの理念は何かということを考え、NPO法人をとりました。行政の対応など、NPOに対するある程度の信頼は出てきたと思うが、ただ、NPOが乱立し、NPO全体に対する信頼が少し揺らいできているよ

何かやりたいが一步を踏み出せない人に社会参加のきっかけづくりを、ということを取り組んでいます。

うにも思うので、これからはNPO自身の評価などが必要かと思えますね。

遠矢 私たちも有限会社にするかNPO法人にするか議論しました。自分たちは社会変革が第一の目的なので、NPO法人となり、組織として信頼を得られればと考えました。ただ、NPO法人に対する認識は加速度的に変わりつつありますが、まだまだ浅いですね。

●活動内容を拜見していて、参加する側にとって、びいめ〜るは情報誌ということ窓口が広いと思いますが、SEANは目的意識がはっきりしていないと入りづらいのではないですか。

遠矢 「サポートとんがらし」プロジェクトがあるので、子どもを預けることを目的にSEANへ参加される人もいます。そんな人にもこちらから積極的に情報提供することで、それがきっかけとなって自分に「気づく」人もいます。「自分らしさ」といいますが、その「らしさ」が自分にとって抑圧となっている人も意外と多くいます。「らしさ」ってある意味虚像なんですね。その

●「びいめ〜る」発行の様々な冊子。



いう働きかけが必要です。情報が溢れているのでみんな「こうある方が幸せ」という青い鳥症候群に陥っているように思います。

●「ジェンダー」という言葉を知らない人はまだまだ多いし、言葉だけが走っているような気がします。滋賀県でも「ジェンダー」の理念を明確にしたSEANのような活動は広がっていくでしょうか。

小川 滋賀県ではある意味地域格差が大きいです。どの地域で活動するかによると思います。むしろ、ジェンダーという若き世代が来ない事が課題だと思います。そういう点で、SEANがNPO法人でやっているということは好意的に思われているし、わかりやすく受け入れられるのではないかと思います。

遠矢 高槻でもさほど変わりはないです。GIFreeのスタッフの半分は高槻以外



小川泰江さん

(特)びいめ〜る企画室理事長
「滋賀県の女性に役立つ情報と一步を踏み出すきっかけの提供」をコンセプトとして1997年に設立。現在、フリーペーパー「びいめ〜る」を隔月で22,000部発行するほか、びいめ〜るWEB版、メルマガ、FM滋賀などによる情報発信、出版、WEB制作、IT講師派遣などの事業を実施。
連絡先：077-554-1774
<http://www.bmail.gr.jp/>

から通っています。特に同居や転勤族の人たちは、ジェンダーをうすうす感じながら、直視できないでいる。直視してしまうと家族を維持できない場合があるからです。また、ジェンダーに気づき学習しながら実生活が変わらない人も多いですね。学習と生き方そのものがリンクして初めて、自己肯定感が持つエンパワーされるのですが。

●女性が結婚し、一旦家庭に入ってから再度社会に出て行くのはなかなか難しいのが現実ですが、そのあたりも変えていきたいと思いますか。

遠矢 社会資源が豊富になれば、もっと外に出る人が増えると思いますね。三歳児神話などで「子どもの善し悪しは母親で決まる」と言われ、子どもを人に預けることに罪悪感を持つ人も多いから、子育て期はどうしても家庭にはいる。家庭に入り閉鎖された世界の中で、社会との接点を具体的にイメージできなくなってしまう。本当は生きている限り社会と関わっているのにそのことがイメージしにくい。子どもが学校に進学し、自分の手にゆとりができた時、再

遠矢家永子さん

(特) SEAN代表理事・事務局長

SEANはSelf Empowerment Action Networkの頭文字。1997年に「ネットワークステーションとんがらし」という名称で活動開始。自立支援事業の「サポートとんがらしプロジェクト」や「仲間づくりプロジェクト」、中学生向けジェンダーフリー教育プログラムG-Freeをはじめとする啓発研修事業などを実施。

連絡先：072-684-8584
http://www.npo-sean.org



●年2回発行の広報誌「SEAねっと」と遠矢さん執筆のエッセイ集。

就職しようとしても家事や育児は自分のキャリアにはならない。だから自信をなくしあきらめていく。「サポートとんがらし」では家事や育児もキャリアとして位置づけ、ワーカー登録の祭に資格の有無は問わないようにしています。

小川 子育てが一段落していざ再就職といってもこのご時勢ではなかなか難しい。その中でNPOの果たす役割も、有償という意味ではなくて、社会に参画という意味ではこれから大きな役割を担って行くのかなあと思います。お金が伴うことだけが重要ではなくて、多様な参画の仕方を可能にしていけたら。SEANのやっている託児なども重要な役割を果たすだろうし、エンパ

ワメントの講座などや組織なども滋養でも増えてきているので、そのあたりがうまく続いていけば、いろんな局面で出てくる女性が増えてくるのではないのでしょうか。

●最後に、今後どんなところに力を入れた活動を考えていますか。

遠矢 ジェンダーの問題は女性問題ではなく人間問題だと言った人がいます。女性が抱える問題もさることながら、今厳しい状況にあるのはむしろ男性側。男性は自分が抱えているジェンダーに気づきにくいし認めにくい教育を受けています。引き込みりなども圧倒的に男性が多い。また、若い世代でジェンダーの問題に対し嫌悪感を持っている人も多い。男女平等という考え方を、一部の女性たちが自分たちの権利だけを主張し強くなるというイメージで捉えてしまっている。性別へのこだわりから生まれる問題に気づき人生を自分の手に取り戻してもらおうために、そういう人たちのSEANの活動に巻き込んでいきたいと思っています。

小川 今、最も力を入れている事業が「イ

ンターネットモニター隊」で、何かやりたがが一步を踏み出せない人に社会参加のきっかけづくりを、ということを取り組んでいます。最終的には千人ぐらいの参加を目指したいと思っています。二〇代〜四〇代前半のある程度時間がある主婦といわれる層が中心になると思われますが、これを上手くもっていったら、浅くはあるが広く女性の社会参画という事につながると思う。ただのモニター事業ではなくて例えば審議会とかの場でも現状を発言、政策提案していきけるような、また、企業に対していろいろな新商品の共同開発までもっていきけるような事業にして行けたらと考えています。

◆◆取材を終えて◆◆

直球のSEANと変化球のびいめゆる。手法は違ってもめざすところは「一步を踏み出す」きっかけづくり。こうした団体がネットワークを築くことで、女性が社会の中で気持ちよくイキイキと活動していくことができるのではないのでしょうか。(六)

**誰でも、生きていく限り
社会と関わっているんです。
現状を否定するのではなく、
家事や育児もキャリアとし
エンパワメントしていきたいです**

【3歳児神話】「子どもは3歳までは、常時家庭において母の手で育てないと、その後の成長に悪影響を及ぼす」という考え方。これらは、今日では調査研究や歴史的な経緯からも合理的根拠がないことが明らかになっている。(滋賀県男女共同参画課HPより)

きらり輝いています！

NPO

「笑い」は心に直接伝わる、世界共通の言葉

取材前、クラウンとは道化師の格好をした人だから大道芸をする団体なのかな？と思っていました。しかし代表のトンちゃんこと石井裕子さん

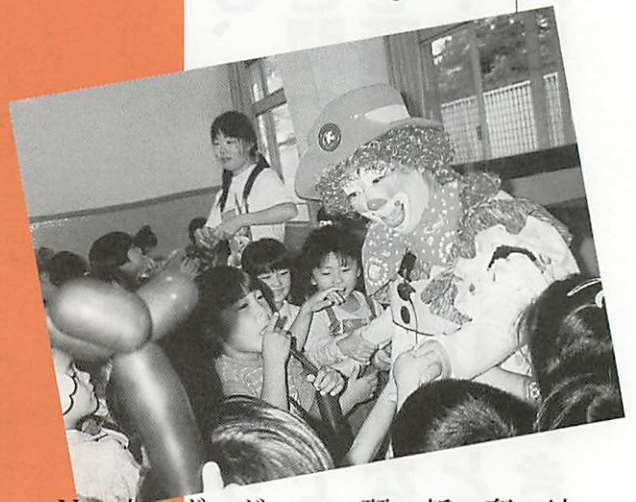
にお話を伺うと、映画「パッチ・アダムス」

で扱われていた精神的医療の要素をもったクラウンの活動だと分かりました。石井さんはずつとボラ



●一緒に活動している大角礼子さん。 ●代表の石井裕子さん。

ンティアや地域の役職を続けてこられ、子どもさんが独立される頃、今後何をしようかと探しておられたそうです。「四年前にアメリカのウイスコンシン州の大学で『クラウンキャンプ』が行われることを聞くと即座に、コレは自分にできることだ！とひらめいて参加しました」と言います。当時は五十代直前、海外旅行未経験、英語もダメ。カリキュラムには大道芸だけでなく心理学やガウンセンターの実習もあり、それらを身振りや単語だけで理解したとか。この驚くべき行動力でご自身のパートナーだけでなく、親友の大角さんご夫婦までも引き込まれ、四人の一座が結成されました。ケアリングクラウンは日本でも次第に認知されつつあり、大阪の病院に招待されたこともあります。歩き回って芸を見せるだけでなく患者さんの話を聞いたり、落ち



●泉大津市立病院でのケアリングクラウン活動の様子。

地域でボランティア活動を広めようと奮闘しているあなた、新たにNPO活動を立ち上げて琵琶湖のまわりを走りまわっている君、「淡海」というフィールドで、静かだけどどこか「きらり！」と輝いているボランティア活動や市民活動で活躍されているNPOの皆さんをご紹介します。

込んでいる人にはただ寄り添って座つたりの近づかれるのがイヤな人からはさつと離れます。ピエロとクラウンの違いを意識しながら

の活動を目指しているそうです。一座は夏祭りや秋の文化祭、クリスマスの時期にはひっぱりタコ。基本的にはボランティアですが、環境に配慮したバルーンなど仕込のお金もかかるため、出張には交通費と実費が最低限必要だそうです。皆さんも、どこかでトンちゃん一座に出会ったら子どもにも戻って素直に笑って心から楽しんでください。(編集ボランティア 幡 郁枝)

ケアリングクラウン トンちゃん一座

代表●石井裕子
設立●1999年
メンバー●4名
連絡先●大津市日吉台2-24-12
TEL&FAX : 077-579-3241
e-mail : fusementon@mx.cable-net.net.jp



●年1回、滋賀県立図書館にある中庭で開催されるコンサート風景。

ンフォニックスバンド、コーラスグループの石山フラウエーンコールな

人の命をいかす、顔の見える社会づくりが、人生の課題… いつか、音楽だけの村を創ってみたい

音楽活動のジャンルには特にとらわれないが、オペラが一番好きと言う代表の澤さん。舞台と客席が明らかに分かれています。感じて、これをひとつの場に作りあげて、課題に一九七八年頃から滋賀で活動を始めました。まず、中・高校生のブラスバンドから音楽層を作りあげてを始めることに、

とど広がり、今日まで二〇数団体の創設に関わってきました。一九八一年の「びわこ国体」では、滋賀らしい文化発信として市民オペラ「三井の晩鐘」の創作に関わり、指揮をしました。

「私は、『参加』と『表現』と『専門性』の三つの要素は、人が生きがいを持つために必要なものと考えています。一人ひとりの個性を生むための表現活動を通して、個人と社会の関係を考え続けてきました。」その思いから、次の世代が自由な創作活動ができる社会にとNPO法人音楽村を設立されます。

法人設立により、活動の幅が一層広がります。

音楽の練習や演奏などの環境づくりを求めて活動されていますが、いつか実際に「音楽村」を創ることができるといいですね。（事務局 木村光一）



●代表理事の澤正徳さん

NPO法人音楽村

代表●澤正徳
設立●1999年
会員●正会員48名
連絡先●大津市栗津町5-2
TEL&FAX: 077-537-2004
e-mail: info@ongaku-mura.jp
URL: http://www.ongaku-mura.jp

子どもたちが楽しみなながら 自然の大事さに気づく「場」づくりを

大津の街中を流れる相模川。その上流に砂防ダムができたのが一九九七年のこと。上流の自然を愛し親しむ人々が、ダム完成による環境の変化を憂い、危機感を覚え、人工の手が入っていない自然を守り次世代へ引き継ぐよう活動しています。

発足当初は相模川上流の林道をゴミ拾いしながら散策し、自然観察会を開催する活動でしたが、周辺の自然を守るには、生活の変化により人の手が入らなくなって荒廃している山の整備保全が必要と感じ始めました。

それまでの地道な活動への理解もあり、昔、入会地であった雑木林を借りることができたのが二〇〇二年。間伐や下草刈りといった山の整備をしながら、チップ化した間伐材を利用した遊歩道整備や炭焼き、また子どもたちへの自然体験会を開催するなど活動の幅が広がってきました。毎月第一、三日曜日の定例活動日には、朝早くから楽しみながら活動するメンバー

「私たちの会は別名『自然の旬を楽しむ会』です。



●ご夫婦で活動する代表の山崎正博さんと和子さん。

山に入って鳥のさえずりを聞き、木々の彩りによって季節の変わりを知る。メンバーそれぞれが自分なりの楽しみをもちながら自然を守っています」と代表の山崎さん。活動拠点である雑木林で実績を積み、持ち主の理解を得ながら周辺の里山へも活動範囲を広げることが当面の目標です。

会の熱心な活動の反面、住宅地に近い里山であることからゴミの不法投棄が後を絶たないとか。その都度、メンバーたちが後始末に追われています。

今後の活動について「この身近な自然を次世代に残すため、まず、次世代の人間である子どもたちに来てもらい、子どもたちが楽しみながら自然の大事さに気づく、そんな場をつくっていきたいと思っています」と山崎さんは熱っぽく語ってくれました。（六）



●木ノ下谷林道側林で間伐するメンバー。

膳所の山辺を愛する会

代表●山崎正博
設立●1999年5月
会員●45名
連絡先●大津市湖城が丘17-40
TEL&FAX: 077-526-2090
e-mail: yamasaki@pop.biwako.jp

リレーエッセイ

「十人十色」



秀次倶楽部 代表
高木 茂子さん

共に目指すところは同じでも、考え方や手法はそれぞれです。

秀次倶楽部が発足して8年、地域の歴史や文化の顕彰とコミュニティを第一の目的として、今年NPO法人に申請してやっと一步を踏み出せたのです。

まちづくりは楽しんでやるものといいながら、それぞれの思い入れがあり、なかなか真直ぐに行かないのが人の道…くねくね行くのがまた楽しいまちづくりです。

法人化することで、連帯感や使命感が湧いてきて新しい発見ができたり、感動することに多く遭遇出来ることを期待しています。活動が活性化していくために地域や行政、企業とパートナーシップを如何にとるかが課題となります。公的な活動を行いながら、民間の良さを多に活かして、十人十色それぞれに輝きたいものです。

今回は「子育てサポートおうみはちまんすくすく」の

伊藤幸枝さんです。

- ⑥設立当初2事業年度分の事業計画について
 - ⑦設立当初2事業年度分の収支予算について
 - ⑧設立代表者選任と権限委譲について
- などを決める必要があります。

認証の審査は書面審査であり、申請内容が法律の要件に適合していれば認証を受けられます。しかし、団体が社会にとってどのような役割を持ち、役割を果たすためにどのような活動を行っていくのか、またそのためにはどのような組織体制がよいのかよく検討する必要があります。設立発起人、社員（会員）、役員予定者の意思を一致させ、団体の特徴を活かした法人格取得の手続きをとることが、後々の活動をスムーズにすることにつながるため、設立総会での議論は大変重要です。

特に定款は、組織や運営に関する基本的なルールを定めた法人の「憲法」ともいえるもので、ここで定めたことは法的な効力を持つことになります。滋賀県NPO活動促進室が発行している「特定非営利活動法人の設立及び管理・運営の手引き」には定款例が示されていますが、定款例をそのまま使うのではなく、十分に議論、検討し、団体の活動に応じた内容のものを作るように工夫しましょう。



▲昨年度のおうみ市民活動屋台村に出前「e~まち滋賀」室1ヶ月3万円~。

▼「ええとこ滋賀探検隊」オフ会で沖島探検（写真：隊長）



事務局は滋賀総合研究所

(※) 研究員の奥野さんらが担当。一方、奥野さん自身もNPOに参加しながら、一市民として行政のあり方を問い続けています。「誰にもきつとある“キラッ”と光る魅力を見つけるのが好き。ネットコミュニティは単なるツールに過ぎないけれど、人と人をつなぐ可能性がある。しかし、ネットで完結しては意味がない。現実の地域をも巻き込むムーブメントにならないかなあ〜と。あなたもe~まち滋賀で、情報交換してみませんか？

※滋賀総合研究所は、滋賀の経済と社会の発展を目的に設立された第3セクターのシンクタンク。協働による地域主体のまちづくりを応援します。

【問】e~まち滋賀推進委員会事務局
((財) 滋賀総合研究所内)

TEL : 077-525-2871 FAX : 077-525-0633
e-mail : info@emachi.jp

スローグッズ探検隊

NPO団体が開発した人や自然にやさしい商品をご紹介します!



見て、呼んで、癒される育児書
『子育てってどうするの?』

著者：広田幸子

協力：滋賀子育てネットワーク

発行：サンライズ出版

定価：本体価格900円+税

初めての育児で、不安や悩み、イライラなどを抱える女性に対し、「安心」と「自信」、「癒し」効果を与えるという、新しいタイプの育児書です。

著書の広田幸子さんは、1954年長崎県生まれ。九州大学薬学部卒業後、カウンセリング、心理学を学んだが、九州大学教育心理相談室、芦屋市教育相談室で相談活動に従事されました。またそのかわら、出産後子育てサークルに参加。13年前に彦根市に来てからは「彦根子育てネットワーク」を立ち上げ、代表として活動し、その後自宅で「彦根子育て研究所・ラボール」を開いて活動を広げています。

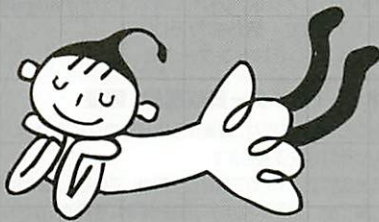
この本では、0~1歳の乳児期から1~3歳の幼児期前期、3~6歳の幼児期後期、そして小学6生までの時期の子どもへの接し方や家族の役割などのポイントをわかりやすくまとめ、やさしく語りかけるようにアドバイスしています。

★県内主要書店にて発売中。電話、ホームページでの注文も受付中。
サンライズ出版
TEL : 0749-22-0627 URL : http://www.biwacity.com/sunrise/



がんばれ!NPO 応援団

市民活動を元気にする情報コーナー



おらみネット

マネジメント講座Q&A

市民活動を継続させるためのワンポイントアドバイス。
★お聞きになりたい質問を受け付けています。

質問：現在活動しているグループ（任意団体）をNPO法人にしたいと思っています。法人認証申請をする前に「設立総会」を開かなければならないと聞きましたが、総会で何を決めればいいのでしょうか。

回答：任意団体とNPO法人は別の団体として取り扱われますので、新たに法人を設立することになります。法人を設立するためには知事（または内閣総理大臣）に対し認証申請を行うわけですが、提出する申請書類の内容について、会員のあいだで正当な手続きを経て合意が得られたことを明らかにする必要があります。そのために開催されるのが「設立総会(または設立発起人会)」です。「設立総会」では、

- ①法人を設立するかどうかの意思決定
- ②設立趣旨書について
- ③NPO法第2条第2項第2号および第12条第1項第3号に該当する団体であることの確認
- ④定款について（役員を選任について）
- ⑤設立当初の財産目録について

めとてとコラボ

市民と行政、市民と企業などの、新しい市民協働（パートナーシップ）のカタチを紹介します。

人とひと、人とまちを電子会議でつなぐ
協働によるまちづくり・提案づくりに挑戦しています。

..... e~まち滋賀 <http://www.emachi.jp>



▲事務局の奥野修さん



▲e~まち滋賀ホームページ



「NPO寿司」草津オフ会でのタウンウォッチング（写真：たまさん）

ある産業おこし会議室」では、滋賀大経済学部谷口助教授ら
を世話人に、県の産業振興指針作成に向けて提言するなど、
政策への反映を念頭においています。

現在、会員は250名。県立大学の鯉住さん、NPO市民熟人の阿部さん、びいめ〜企画室の樋口さんら15人の「e~まち滋賀推進委員会」が、各会議室の責任者を応援し企画・運営にあたります。市民による自主運営のみんとねっと会議室は、「菜の花プロジェクト」「ええとこ滋賀探検隊」「waiwai子育て」「夢〜舞めんと滋賀」「NPO寿司」「びわこITうえい」「ええとこ滋賀探検隊」等6つが開設され、日々楽しい雰囲気
で議論を展開中。今年は新規の取り組みで有料会議室「かしてねっと」もオープン。「掲示板のノウハウがない」「イベントに使いたい」など、市町村や企業を対象に、ホームページやメルマガに広告掲載の特典付きで募集中です（1会議

「e~まち滋賀」はインターネット上の会議室。「こんなテーマについて話し合いたい!」「解決の糸口をみつきたい!」と考える市民や行政職員がぶらっと訪れる、気さくな電子プラットフォームです。地域を自分たちの智恵と力で良くしよう、自分たちの輪で変えていこう、そんな想いを持つ人同志をつなごうと、2001年に「e~まち滋賀」が県との共同で試験的にスタート。自己解決型のコミュニティをめざして、昨年、自主活動として本格稼働に踏み切りました。県委託の「夢の

11月・12月の掲示板 情報募集中!

日時・場所・問合せ先等を明記の上、10月8日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

日仏景観会議

彦根でまちづくりを考えよう

▶ 9月23日(火) 13:00~

▶ 9月24日(水) 10:00~

内容●歴史解説の後3つのコースに分かれてガイドとともに彦根の探索へ(23日) フランスから講師を迎え、講演と討論会(24日) 場所●23日・彦根商工会議所(集合) 24日・滋賀大学経済学部講堂 ※懇親会(23日18:00~ 参加費3,000円) 【問】日仏景観会議彦根事務局 TEL:0749-27-1141

茜トークサークル講座

第92回例会

▶ 9月27日(土) 13:30~

テーマ●「新しい価値観を求めてー 死の準備のススメ」

場所●大津市生涯学習センター

参加費●500円

【問】茜トークサークル事務局

TEL:077-522-6897

大阪ガスグループ福祉財団助成事業

☆高齢者福祉助成

対象●(1)高齢者を対象とする地域福祉活動やボランティア活動で、京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、または京都市、大阪市、神戸市の社会福祉協議会の推薦を受けた活動 (2)現場で実際に汗を流して活動されているボランティア団体等の活動を歓迎 応募方法●申込書(A4両面)に必要事項を記入・捺印の上、添付書類とともに京都府、大阪府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県、また京都市、大阪市、神戸市の社会福祉協議会へ提出してください。 応募期間●9月30日(火)まで・期日厳守

【問】上記社会福祉協議会または大阪ガスグループ福祉財団

TEL:06-6205-4686 FAX:06-6203-1028

URL:http://www.osakagas.co.jp/com-s/htm/jyosei.htm

助成金情報

河川美化・緑化平成15年度 調査研究助成

趣旨●河川環境の美化・緑化および保全に関する調査および研究を奨励し、その成果を河川環境の向上に資する。

対象●(1)大学および大学付属研究機関の個人またはグループ研究者(2)その他の研究機関等における個人またはグループ研究者

調査研究分野の範囲●(イ)河川区域内における、良好な水辺を形成する、近自然工法に関する分野(ロ)河川区域内の植物と鳥、昆虫、小動物、魚類等の生態との関連に関する分野(ハ)水生植物と河川水質浄化との関連に関する分野(ニ)河川区域内の植物管理に関する分野(ホ)河川区域内の植物等の分布およびその関連に関する分野(ヘ)河川区域内の貴重植物種の保存に関する分野(ト)河川の美化・緑化および保全の普及・啓発に関する分野

申請手続●9月30日(火)までに申請書の「正」1部、「写し」1部を下記まで提出して下さい。

提出先●〒104-0042 中央区入船1丁目9-12 (財)河川環境管理財団 理事長 和里田 義雄

※封筒の表に「河川美化・緑化調査研究助成申請書 在中」と明記して下さい。

【問】(財)河川環境管理財団 河川環境総合研究所 研究第1部 担当:桑原

TEL:03-3297-2644 FAX:03-3297-2677

e-mail:kuwabara-n@kasen.or.jp URL:http://www.kasen.or.jp

滋賀県産業振興サポートグループ 支援事業費補助金事業の公募

内容●産業振興サポートグループが行う産業振興支援事業への助成。

対象●県内に拠点を構える設立5年未満の産業振興サポートグループ(民間グループ、企業組合、NPO等)が県内を中心に実施する産業振興支援事業

応募期間●9月末日まで(予定)

【問】滋賀県 商工観光労働部 商工観光政策課 企画情報・金融担当 森脇

住所:〒520-8577大津市京町4-1-1

TEL:077-528-3712 FAX:077-528-4870

e-mail:FA00@pref.shiga.jp

URL:http://www.pref.shiga.jp/i/shokokanko/

コメリ緑基金募集

対象●緑や花に囲まれた美しいふるさとづくりを目的とした、公共性のある緑化活動。法人・団体に限る。

公募期間●10月31日(金)まで

【問】「コメリ緑基金」事務局

住所:〒950-1492白根市茨曾根

4453-1(株)コメリ事業本部内

TEL:025-371-4112

FAX:025-371-4151

e-mail:midori@komeri.bit.or.jp

URL: http://www.komeri.bit.or.jp/japanese/public/public01.htm

●おうみネット「チラシ作成講座」開催

市民活動団体・NPOにとって、イベント情報を発信する「チラシ」づくりはとても大切です。人の目をひき、参加者を増やすためのチラシづくり講座を開催します。

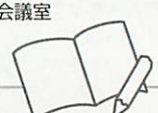
■内容:チラシ作成の基礎、レイアウト・パソコン(ワード)を使った実技

■開催日 第1回:10月15日(水)13:30~16:30 第2回:10月19日(日)13:30~16:30

※場所はいずれもピアザ淡海県民交流センター202会議室

■定員:各回10名限定 ■参加費:500円

※申込み、お問い合わせはセンターまで



●おうみネット「ライター養成講座」開催

広報・情報誌作成における取材、編集から情報誌のレイアウトまでの基礎を養い、市民活動団体の情報発信を支援します。

■対象者:市民活動団体、NPOで情報誌を担当している人。または情報誌を発行しようとしている人。終了後、「おうみネット」の取材・編集に積極的にかわっていただける方。

■内容:1日目(情報誌作成の基礎を学ぶ)/2日目(取材の基礎、方法、実践を学び体験する)

■開催日 第1回:9月17日(水)・24日(水)13:30~16:30 第2回:10月25日(土)・26日(日)13:30~16:30

※会場はともにピアザ淡海県民交流センター202会議室

■定員:各回15名(両日参加できる方を優先します)

■参加費:1,000円(2日通し) ※申込み、お問い合わせはセンターまで

滋賀会館シネマホール 9月の上映予定

チケットプレゼント

9月7日(日)まで「WATARIDORI」[ボウリング・フォー・コロムバイン]

9月3日(水)~15日(月)「おばあちゃんの家」[ブルー・クラッシュ]

9月10日(水)~28日(日)「キリクと魔女」

9月17日(水)~28日(日)「北京バイオリン」[愛してる?してない...]

◆リクエスト受付中!

上映してほしい作品名と住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで淡海ネットワークセンターまでお送り下さい。抽選で3組6名の方に、滋賀会館シネマホール映画鑑賞券をプレゼントいたします。

当日料金は、毎週水曜日¥1000均一!

ロードショー/一般¥1700/学生¥1400/シニア・小中高¥1000

スタンダード/一般¥1300/学生・シニア・小・中¥1000 共通前売り券¥1300(月毎の券です)いたします。

・各回入替制 ・上映時間・料金はお問い合わせ下さい。

TEL:077-522-6191 滋賀会館シネマホール

クローズアップ・情報BOX

滋賀県内の元気なNPOをBBCびわ湖放送テレビで紹介 ~パワフルNPO~

新しい時代の新しい法人組織として今、注目を集めているのが特定非営利活動法人NPOと、最低資本資本金規制特例による確認株式会社などの個人起業会社、及びそれらの有機的な結びつきからなる共同総合組織です。

地元テレビ局のびわ湖放送ではこの新しい時代にあ

わせ、滋賀県内で現在活動されているNPOや県民グループ・企業などの皆様方の今後の活動を支援するために、日頃の活動内容を紹介するスタジオ生番組を、この4月からスタートさせました。

県内で活躍されているNPO法人やこれに準ずるNPO団体の皆様方に是非ご覧頂き、活動の支援にしたいと願っております。

■題名:~「パワフルNPO」~

■放送日:毎週水曜日 17:35~45 ニュース&情報番組

新!呼吸「ぶるるるぶびわこ」内





行って来て見て 情報BOX 9・10月

参加者募集

学習指導ボランティア募集

不登校の小中学生のケア、サポートを目的に活動するNPOスペースwillでは、子どもたちに学習指導してくれる大学生スタッフを募集しています。
 条件●原則として水曜日午前10時から12時に中学生の指導が可能の方。
 ●竜王町近辺在住の4年制大学生を希望します。薄謝あり。
 【問】NPOスペースwill
 TEL:0748-58-1690

環境学習の出前講座引き受けます!

保育園、幼稚園、小学校などの環境学習のお手伝いをしています。
 講座内容●牛乳パックの紙すき、せっけんの使い方・実験、紙しばい等
 ※費用は応相談
 【問】滋賀県環境生協
 環境学習委員会
 TEL:0748-46-4551

OSAKA NPOアワード2003 ~あなたの思いを表現しよう!~

内容●市民活動団体によるPR能力を競うイベント。書類審査を通過した団体に11月1日開催のプレゼンテーション審査に臨んでいただき、グランプリ(30万円)ほか各賞を決定します。ふるってご応募下さい。
 【問】(特)大阪NPOセンター
 TEL:06-6460-0268
 e-mail:osakanpo@onp.or.jp

大津百町おもしろ発見 連続講座「町家・まちなか・萬(よろず)塾」

☆9月10日(水)「えっ!大津にお城があったの」中井均☆9月26日(金)「町家で紙芝居」湖人の会 志海社中
 ☆10月17日(金)「なかにまちなかにあつた寺子屋の話」木全清博☆10月30日(木)「町家で津軽三味線」藤元辰也☆11月15日(土)「大津絵の風刺」高橋松山☆11月26日(水)「津田三蔵と大津事件」樋爪修☆12月中旬「フントンしゃん・芸事話」山下光子
 時間●19:00~
 会場●大津百町館(大津丸屋町商店街、大津曳山展示館斜め前)
 募集人員●各回50名
 受講料●7回通し2,500円(大津の町家を考える会 会員2,000円)
 座席に余裕がある場合のみ、当日参加を受付(500円)
 申込み方法●名前と住所、電話番号を明記して、ハガキまたはFAXで大津百町館まで。
 【問】大津百町館
 住所:〒520-0043
 大津市中央一丁目8-13
 TEL・FAX :077-527-3636

秋の食害防除作業

▶ 11月21日(金)~24日(祝)3泊4日
 内容●防護柵設置 場所●土山町
 参加費●6,000円 ※高校生以上の申し込み締切●11月13日(木)
 【問】かもしかの会関西事務局
 電話075-502-4255
 E-mail:serow@pure.ne.jp

大津市南部障害児児童 保レボレ 保育ボランティア募集要項

内容●草津養護学校に通う小・中学生の知的及び肢体の障害児のための学童保育を開所。障害をもつ子どもたちと関わってみたい方、子育てにそろそろ手が離れてきたお母さん、学生さん、是非お願ひします。土日お休みのお父さんも大歓迎です。
 【問】昼間/TEL:077-543-6025(松本)
 TEL&FAX:077-543-6708(渡辺)
 夜間/TEL&FAX:077-537-5782

高校生留学第14期生募集説明会

▶ 10月11日(土) 10:00~
 内容●第一部・講演会「高校生留学と子どもの自立」第二部・募集説明会
 会場●ピアザ淡海第201号
 参加費●無料。高校生は保護者と一緒にご参加下さい。
 【問】NPO法人 高校生異文化交流協会 佃
 TEL:075-921-4159
 URL:http://www.nkyo.net/ryugaku/homepage/

ポルトガル語を学ぼう!

今、日本の地域の学校にたくさんのブラジルの子供たちが生活するようになってきました。ところが、日本の学校では母国語であるポルトガル語の指導を行なっているところは、現実的にはほとんど無く親子の会話がしにくくなったり母国語での高校受験など、進路や就職などの壁にぶつかっている子が大勢います。本教室が少しでも自らのアイデンティティーに誇りをもって生きていける場になればと願っています。
 内容●ポルトガル語の読み書き日時●第2・4土曜日10:00~12:00
 場所●近江八幡市人権センター
 対象●ポルトガル語を母国語とする小学生~高校生まで(ポルトガル語を学びたい児童も歓迎)
 参加費●1回200円
 主催●ボランティアグループ「Clube Curumim(クルベ・クルミン)」
 【問】前田オルガ豊子(近江八幡市役所 パートナースHIP推進課内)
 TEL:0748-36-5552
 FAX:0748-36-5553

お知らせ

ウォーターステーション琵琶オープン

「川とともに学び、考え、活動する住民の拠点」ウォーターステーション琵琶がオープンしました。
 場所●大津市黒津4丁目2-2
 開館時間●9:00~20:00(予約のない日は17:00)
 休館日等●毎週火曜日定休(火曜日が祝日の場合はその翌日)、12/28~1/4
 入館料●無料
 【問】ウォーターステーション琵琶
 TEL:077-536-3520

イベント

大津市茶道連盟秋季茶会

▶ 10月13日(祝) 9:00~
 内容●抹茶一席、煎茶一席
 場所●大津市伝統芸能会館
 【問】大津市茶道連盟
 TEL:090-3030-7996(水野)

大津131の鎮守の森の調査報告会「鎮守の森をめぐる」

▶ 9月20日(土) 13:30~
 基調講演●「鎮守の森を調べる」上田篤氏
 調査報告●(1)森の立地と景観 森川稔氏(2)森の植生 大谷一弘氏(3)社の建築空間 村田信夫氏 ほか
 参加費●500円(資料代)
 会場●近江神宮・近江勸学館
 参加申し込み●下記へ、FAXまたは直接、名前と連絡先を明記してお申し込みください。
 大津百町館(大津市中央一丁目8-13)
 TEL・FAX 077-527-3636

龍谷大学第81回龍谷祭

▶ 11月2日(日)・3日(祝)
 テーマ●POWER of 龍祭
 場所●龍谷大学 瀬田キャンパス
 内容●模擬店、フリーマーケット、ゲーム、ボランティアサークルによる障害者問題についての調査、分析の展示発表など※詳しくはお問い合わせ下さい
 【問】龍谷祭実行委員会
 TEL:077-543-7787

「生命のメッセージ展」in滋賀

▶ 10月11日(土)~13日(祝)
 場所●ピアザ淡海 県民交流センター 一大会議室
 内容●凶悪な犯罪や悪質な交通事故などで犠牲となられた方々の生きた証を等身大人型パネルにて展示し、命の重みや大切さを訴え社会の被害者支援意識の高揚を求める
 【問】「生命のメッセージ展」in滋賀 実行委員会
 TEL&FAX:077-525-0750(青木方)

朽木いきものふれあいの里友の会

☆自然観察会「朽木の野山を歩く(2)」
 ▶ 9月13日(土) 9:00~
 集合●朽木いきものふれあいの里センター
 内容●桑原から三国岳に登り、秋の植物の観察や標本採集を行います
 参加費●100円(保険代・会員は無料)
 申込み●前日まで電話で
 持ち物●弁当、水筒、雨具、あれば双眼鏡
 ☆「朽木の山巡り(6)地蔵山(比良山系)」
 ~朽木7名山・地蔵山と棚田を訪ねよう~
 ▶ 10月19日(日) 9:00~
 集合●朽木いきものふれあいの里センター
 内容●昔の峠道をたどり、比良山系の地蔵山に登るとともに、収穫の終わった高島町の「畑の棚田」を探訪します。
 参加費●100円(保険代・会員は無料)
 申込み●前日まで電話で
 持ち物●弁当、水筒、雨具、あれば双眼鏡
 【問】朽木いきものふれあいの里友の会
 TEL:0740-38-3110

勉強会・交流会

医をめぐる勉強会 第12回「生きることの意味」

▶ 9月28日(日) 13:30~
 場所●大津市生涯学習センター3F学習室
 参加費●1,000円
 【問】医をめぐる勉強会
 TEL:0748-83-0924
 e-mail:y-kaze@mte.biglobe.ne.jp

これからの市民活動を応援します (りっとう市民活動お役立ち講座)

内容●市民活動に興味・関心・疑問・意欲...のあるあなたのための連続講座です。3回の講座を受講いただければ、NPOを含む市民活動についての「?」(疑問)が「!」(納得・解決)に変わり、すくにも「↑」(実行・実践)していただけるよう、より具体的な内容で企画しました。
 ☆第1回:10月28日(火) 19:30~21:00
 「NPOって何?~NPOの基礎知識~」
 ☆第2回:11月1日(土) 13:30~15:00
 「地域でNPOを立ち上げるには?~思いをかたちにする方策を探ろう~」
 ☆第3回:11月1日(土) 15:30~17:00
 「NPOを立ち上げてみよう~ワークショップ形式で考えてみよう~」
 講師●阿部圭宏氏(市民活動家・NPOコーディネーター)
 対象●栗東市在住、または栗東市内で市民活動してみたい(している)方
 定員●20名程度 場所●中央公民館
 【問】栗東市政策推進課内 NPO活動推進相談員
 TEL:077-551-0290
 e-mail:seisakusushin@city.ritto.shiga.jp



おうみNPO活動基金に2,933,798円を寄付

このたび、(株)滋賀銀行と(株)東京海上アセットマネジメント投信のご協力により、NPO活動支援のための「おうみNPO活動基金」に寄付を受けることになり、去る7月28日に寄付金の贈呈式が行われました。両社が開発された投資信託「みずすまし」ファンドへの投資を通じて支援活動に参加された多くの皆様に対し、また信託報酬を割いて貴重な浄財をお寄せ下さいました両社に対し深く感謝申し上げます。

リスク限定型ファンド(愛称:みずすまし) 寄付金贈呈式

株式会社滋賀銀行・東京海上アセットマネジメント投信株式会社



淡海ネットワークサロン開催のお知らせ

■第1回「行政のしくみを知ろう」

最近では滋賀県においても市民と行政の協働が進められ、委託や補助といった手法による協働の事例が増えつつあります。今後、さらに市民と行政の協働を推進し、対等な立場でのパートナーシップを築いていくためには、行政のしくみや事情等を理解しておくことが不可欠です。

今回のサロンでは、滋賀県職員の方をお招きし、県の財政状況や予算、組織をテーマに取り上げ、市民と行政が協働していくうえでの疑問点や課題等について参加者のみなさんと意見交換を進めながら、交流を図っていきます。

日時: 9月10日(水) 19:00~21:00
場所: 県民交流センター201会議室(ピアザ淡海2階)
参加人数: 20人(先着順)
市民活動に関心のあるかたなら、どなたでも参加できます
参加費: 300円(お菓子代等)

■第2回まちづくり、ひとづくり

~ヴォーリスが語りかけるもの~
ゲスト: 石井 和浩さん(NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動 一粒の会)

今回のサロンでは、NPO法人ヴォーリス建築保存再生運動一粒の会の石井和浩さんをゲストに迎え、ヴォーリス建築の保存再生運動を通じた地域の活性化についてお話していただきます

日時: 9月20日(土) 14:00~16:00
場所: 旧八幡郵便局(近江八幡市仲屋町中8番地) JR近江八幡駅から徒歩5分(会場には駐車場がありませんので、バスでお越しください)
参加人数: 20人(先着順)
参加費: 300円(お菓子代等)
※申込み、お問い合わせはセンターまで

おうみNPO活動基金募集説明会・中間報告会開催のお知らせ

「2004年おうみNPO活動基金」の募集説明会を開催します。応募を検討されている方はぜひご参加下さい。また同日、2003年おうみNPO活動基金採択団体の中間報告会も開催しますので、併せてご参加下さい。
日時: 9月21日(日)
「募集説明会」10:30~ 「中間報告会」13:30~
※場所はいずれもピアザ淡海県立県民交流センター305会議室
事前申込は不要です。当日会場へ直接お越し下さい。

市民活動団体に備品を無償提供

このたび(株)松下電器産業および淡海フイランスロビーネットから、市民活動団体・NPOに対し事務機・椅子等備品のご提供をいただき、公募の結果、13団体に配布させていただきました。誌面を借りて感謝申し上げます。

淡海ネットワークサロン テーマ募集のお知らせ

淡海ネットワークサロンで取り上げて欲しいテーマおよびサロンの協力団体を募集しています。応募の締切は10月17日まで。詳しくはセンターまでお問い合わせ下さい。

編集後記

カウンセリングクラウンって何?そんな気持ちでトンちゃん一座の取材に向かいましたが、帰りは元気!元気!になっていました。人間って理屈じゃないんだ、心なんだと、しみじみした私です。トンちゃん一座のバルーン芸はアメリカ仕込。見ごたえがあって楽しそうですよ。屋台村が待ち遠しいな。
(編集ボランティア・幡)

トンちゃん一座の石井さん、NPO法人SEANの遠矢さんの取材に同行しました。それぞれ分野は違いますが、共通した言葉がありました。「自分を知る」です。これからどんな自分を発見し、気付けていくのか、少し自分自身を見つめ直す機会を与えられたような気がします。善いことも悪いことも全て受け入れられる自分でありたいものですね。
(事務局・林)

澤さんには、20数年前に一度ご指導いただいたことがある。未熟な私には、タクトを振る姿は、畏怖な存在だった。今も、音楽の情熱は変わらない。一緒に夢を実現させたい音楽村のマネージャーを募集中とか。どうですか、あなた。
(事務局 木村)

11月号のアンケート

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで下記までご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。アンケート締切: 9月末日

- Q1/小中学校で一番大切な役割は何だと思いますか?
a.基礎学力 b.しつけ c.友達 d.クラブ活動 e.その他
- Q2/学校改革をすすめるなら何をすべきと思いますか?
a.30人学級 b.民間人校長・講師の登用 c.中高一貫教育 d.その他
- Q3/子どものモラル低下の原因を一つあげるとすれば?
a.学校 b.地域 c.家庭 d.マスコミ e.その他
- Q4/あなたは、子どもの喫煙を見つけたらどうしますか?
a.知っている子には注意する b.知らない子にも注意する c.何もしない
- Q5/あなたは、どんな学校を望みますか?



お詫びと訂正

おうみネット36号の「巻頭アンケート結果」で、Q3「外出先で出たゴミはどうしますか?」の円グラフの71.7%の項目が抜けておりました。これは「ゴミ箱を探して捨てる」です。お詫びして訂正いたします。

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

■〒520-0801 大津市におの浜1-1-20
■TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net
■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日(12/29~1/3を除く)
火~金曜日/9:00~19:00 土・日曜日、祝日/9:00~17:00

●淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。

・各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、ささりホール、滋賀銀行、郵便局(ボランティア貯金窓口)、公民館など

